

# 2022年度事業計画書

2022年4月1日から2023年3月31日まで

特定非営利活動法人 日本介護支援協会

## I 事業実施の方針

日本介護支援協会は、《社会福祉法人の強化を目指す》をテーマに、介護業界の現状を把握し、認知症のケアについて深く学び、LIFE について現場からの声を聞きました。又、介護福祉士国家試験に向けた受験対策など、限られた費用と人材をより効率的に使い、適切なケアにつなげる事業を展開してまいりました。

今年度は、感染症の中での法人運営、人員配置基準、技能実習生についての勉強会、感染症対策備品の配付など、明日からすぐ実践できる役に立つ情報発信をしていきたいと思っております。

日本介護支援協会は、ご利用者、そして介護の現場で働く人が元気になれるように、介護環境改善に必要な提案をさせていただきながら、皆さまとともにより良いケアの構築をめざします。

### 《テーマ》 社会福祉法人の強化を目指す

- ・Zoomによる情報交換事業  
( 人員配置基準・感染症対策・技能実習生 )
- ・介護福祉士受験対策に関する事業
- ・感染症対策に関する事業
- ・災害備品対策に関する事業
- ・LIFEの課題に関する事業
- ・会員価格での購入サイト事業

## II 事業の実施に関する事項

### 1. 特定非営利活動に係る事業

#### (1) 高齢者福祉に関する研修事業(社会福祉法人強化事業)

参加費	日介協会員(無料) 非会員(1,000円)
-----	-----------------------

#### 1) 人員配置基準の緩和について考える

項目	内容
実施場所	Zoomによる双方向型
対象者	介護保険事業運営施設
目的	2021年12月20日、規制改革推進会議 医療・介護ワーキンググループで、現行、3対1となっている介護施設や特定施設などの人員配置基準を段階的に4対1へ見直していくことなどが提言され、2022年度には実証事業が行われることとなった。

	介護分野の生産性を向上させていくことの必要性は感じているが、現場からは介護の質の低下や負担増への懸念が広がっている。人員配置基準の見直しが独り歩きし、介護の現場に混乱をもたらすような状況になることはあってはならない。配置基準の見直しについての議論の経過と現状を整理する。
講師	厚生労働省 高齢者支援課(予定)

2) **感染症の中での法人運営を考える** —今、介護の現場で起きている感染症に関する研修—

項目	内容
実施場所	Zoom による双方向型
対象者	介護保険事業運営施設
目的	新型コロナウイルスの流行では、介護現場でクラスターが発生した事例も多く、現在も感染リスクを減らすためのさまざまな対策が取られています。重症化リスクの高い高齢者が多く集う介護施設は、引き続き感染予防、対策を徹底するための多大なコストと現場で働く職員には負担がのしかかっています。 実際にクラスターを経験した施設から見えてきた、介護施設の感染症対策、市町村の支援、保険での補償についてリアルな声を聞き、事業運営の課題を整理する。
講師	会員施設(予定)

3) **LIFEワーキンググループによるLIFEの問題点検討**

項目	内容
実施日時	2022年 12月～2023年 2月
実施場所	Zoom による
目的	厚生労働省は、「令和3年度介護報酬改定において、科学的に効果が裏付けられた自立支援・重度化防止に資する質の高いサービス提供の推進を目的とし、LIFE を用いたPDCA サイクルの推進及びサービスの質の向上を図る取組みを推進する」とLIFE の目的を明記しています。 データを入力する職員の負担が大きい、システムの不具合など課題をクリアしながら入りに慣れ、データ提出が習慣化されてきたことは現場のみなさんの努力や頑張りによる成果だと思います。 今までにやったことのない大きな取組みですが「誰もが使いやすいように」を目指して現場から発信していく。
委員	老人保健施設 ジャンボ緑風会 特別養護老人ホーム 白寿園 ひびきの虹色館 杜の風・上原特別養護老人ホーム正吉苑 介護老人福祉施設 味酒野ていれぎ荘

## 4) 防災備品の備蓄状況調査・提案

項目	内容
対象者	日介協会員施設
目的	感染症の拡大に加え、自然災害のリスクも高まり、幅広い災害に対応することが介護事業者には求められています。いつ発生するかわからない災害に備えるため、日ごろから必要物品の備蓄は大切な事の一つです。 防災備品について調査を実施し、提案していきたい。
講師	会員施設(予定)

## (2) 外国人研修の受け入れによる国際交流事業(アジア交流推進事業)

## 1) 外国人の採用、雇用について考える —外国人介護人材の円滑な受け入れに関する研修—

項目	内容
実施場所	Zoom による双方向型
対象者	介護保険事業運営施設
目的	～ 今こそ始める、外国人介護人材受入れ ～ 外国人介護人材の円滑な受け入れに関する研修 新型コロナウイルスの影響もあり、すでに外国人材を受け入れている施設よりも、これから受け入れを考えている、受入れの為に動きたいという施設が多いのではないのでしょうか。外国人介護人材を取り巻く環境についての情報や、実際の受入れにあたり直面する具体的な問題点などを考える。
講師	外国人技能実習機構(予定)

## 2) 介護福祉士国家試験受験対策講座の開催

項目	内容
実施日時	2022年9月(介護の言葉と漢字) 2022年12月(受験対策講座)
実施場所	Zoom による双方向型
動画配信	2022年12月～2023年試験日まで(受験対策講座)
対象者	介護福祉士国家試験受験予定の介護福祉士候補者
目的	効果的な学習方法を学び、一人でも多くの介護福祉士候補者が、自信をもって国家試験に挑み、合格を勝ち取っていただくことを目的に開催する。 外国人の方向けには、「介護の言葉と漢字」の講座を開催する。
講師	いとう総研 伊東利洋氏 国際厚生事業団 植村康生氏

(3) 高齢者福祉及び介護保険事業における人材育成事業(高齢者福祉における人材育成事業)

介護福祉士国家試験 受験対策用テキストの配付

項目	内容
配付時期	「介護福祉士国家試験受験対策講座」の開催に合わせて
対象者	日介協会員施設
目的	「介護福祉士候補者向け 介護福祉士国家試験受験対策講座」で使用しているテキストを会員施設への配布し、介護福祉士国家試験に向けて活用してもらう。

(4) その他本会の目的を達成するために必要な事業

感染症対策備品の配付 (会員施設)

項目	内容
配付時期	2022年6～7月
対象者	2021年度 会費納入施設
法人会員	22,000円 防護服(袖付きエプロンタイプ)150枚、サージカルマスク700枚、手袋(ニトリル)700枚
事業会員	4,500円 サージカルマスク100枚、手袋(ニトリル)300枚
目的	感染症対策マニュアルを実施するために必要な「感染症対策備品」の配付を2020年度2021年度に引き続き実施したい。

(5) 福祉・保健・医療機関団体等との連携及び情報提供事業(情報提供事業)

ホームページの充実、活用

項目	内容
会員ページの活用	・会員ページを活用して、セミナーの動画配信 ・セミナーの動画閲覧希望者へIDとパスワードの発行 ・動画配信については、内容によってパスワードを変更

## 2. その他の事業

(6) 高齢者福祉施設・事業所の福利、経営に資する事業

共同購入システム「日介協ネット」の運営

コクヨグループの「ウィズ カウネット」のカタログ掲載価格から全品6%値引きを施していく。  
定期的にご入会キャンペーンを実施し、周知していきたい。

### 3. 役員会・組織の運営に関する事項

項目	内容
総会 (書面決議)	通常総会の開催:5月(又は6月)に開催する
理事会 5月(Zoom) 3月(書面決議)	通常理事会の開催:5月(又は6月)及び翌年3月の2回開催する
正副会長会議 (Zoom)	事業計画の推進について、共通理解、共通認識を深め、活動方針の確認調整等を目的に開催する
要覧の発行	当年事業計画・予算書、前年度事業報告・決算書を会員施設へ報告する